

なが おか きょう こ いずみ 長岡京市の小泉川にホタルが もどってきたよ

初夏になると、長岡京市の奥海印寺を流れる小泉川には、たくさんの光 ゲンジボタルが
まい飛びます。夜の川にホタルが光を放ちながらまう光景は、それは美しいものです。

ホタルは、緑が多く、きれいな小川のほとりで見ることができます。かつては都市化や川
の工事、生活排水、農薬などによりきれいな川が失われ、ホタルがなかなか見られなくなっ
たこともありました。しかし最近では、ホタルを守ろうという人々が増えてきたため、その
数もかなりもどってきました。

長岡京市でも、地元の人たちが川をきれいにしたり、生活排水で水をよごさないようよ
びかけたりした結果、再びホタルがもどってきています。

自分たちのまわりの川にはどんな生きものがすんでいるのでしょうか。生きものがすみやす
い環境になっているのでしょうか。

広い川原の中を川がだ行して中州があり、土手には林や竹やぶがしげり、川原には生きも
のたちのかくれやすい草がたくさんあるような川が、生きものにとってすみやすい環境とい
えます。

最近では河川工事をするときにも、こうした生きものがすみやすいように工事の方法を工
夫し、木や石を使った護岸や砂防ダムなど、人と自然が共生できる川づくりが進められてい
ます。

川は、深い山の水を集めて上流の谷間から流れ出し、町を流れて海へと注がれます。
上流から下流までそれぞれの環境に適した魚がすんでいます。

上流

水は谷間の岩ばんを流れ、
よくすんで冷たい。



ヤマメ(約30cm)



オヤニラミ(約13cm)



カジカ(約15cm)



ウグイ(約30cm)



アユ(約25cm)

京都府の川にすむ魚

中流

水がよくすんだ瀬とふち。
底は玉石、ジャリ砂など。

京都府の川は、
日本海へ流れる由良川と
大阪湾へ流れる淀川に分かれます。
みんなの町を流れる川はどちらに
流れていくのかな？



ドジョウ(約12cm)



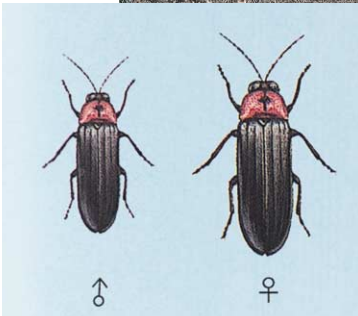
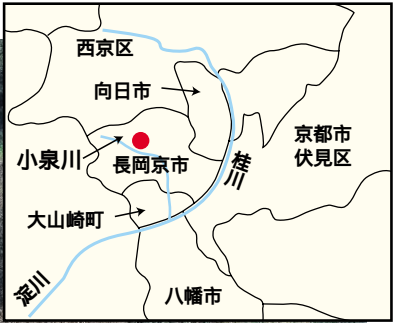
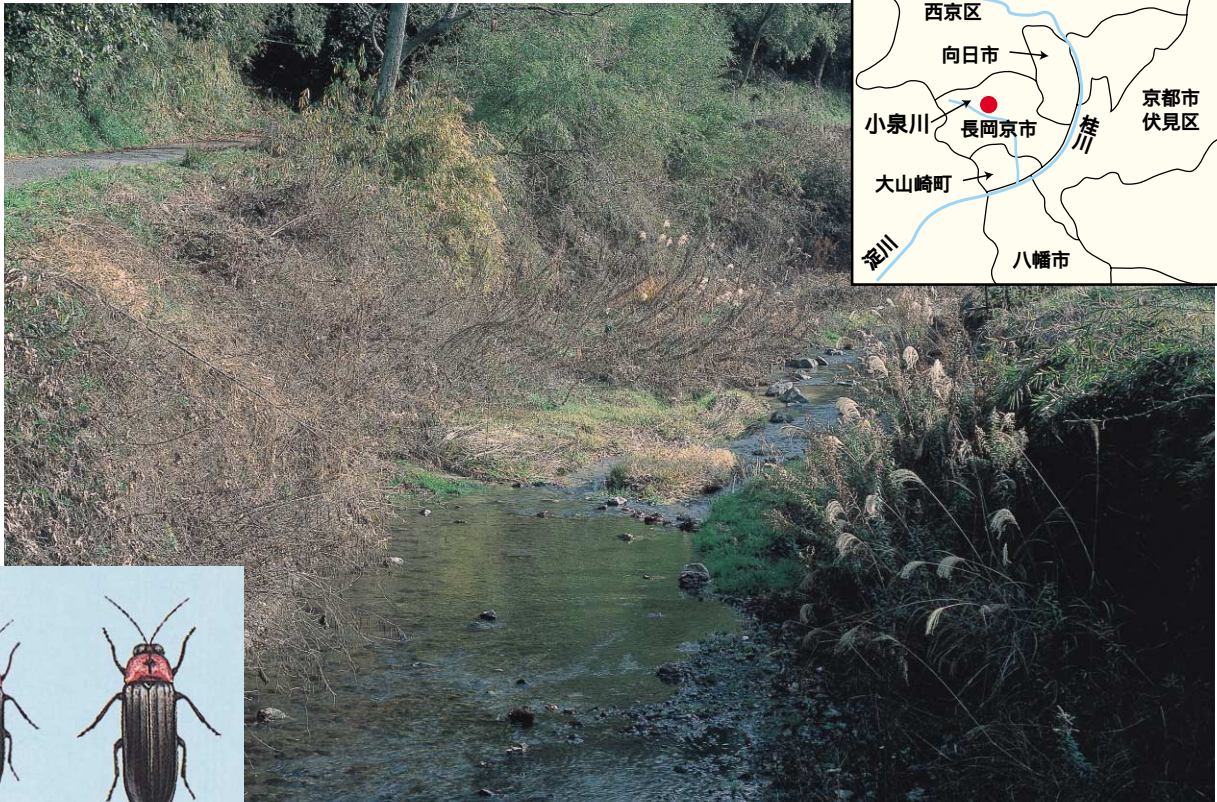
メダカ(約4cm)



オイカワ
(約15cm)



ドンコ(約25cm)



小泉川。ホタルの季節にはゲンジボタルがまうのが見られます。



アカミミガメ
写真提供:滋賀県立琵琶湖博物館

川や池では、外国から入ってきた生物(外来種)が増えてきています。釣りなどで放されたブラックバスやブルーギル、ペットとして飼われていたアカミミガメなどは、メダカなど前からの川魚やゲンゴロウなどの水の中の昆虫を食べてしまいます。池や川に外来種を放さないようにしましょう。



オオクチバス(ブラックバス)

下流 水は夏はあたたかく、流れはゆるやかで底は砂やどろ。



ギンプナ(約30cm)



ナマズ(約60cm)



サケ(幼魚)
(成長すると約70cmになります)



トウヨシノボリ
(約5~10cm)



シロウオ(約5cm)

河口

海の水と川の水がまじるあたり。

バスやアカミミガメを池や川の勝手に放すのはやめようね



旅 3

